

令和6年度

第4回 習志野市立秋津小学校 学校運営協議会

日時: 令和7年2月20日(木) 17:00～

場所: 習志野市立秋津小学校 2階 会議室

司会: 教頭・板屋 記録: 山本

1 会長挨拶

2 学校長挨拶

3 報 告

(1) 令和6年度 第3回学校運営協議会議事録……………資料1

資料に沿って教頭が説明

(2) 令和6年度 第8回パートナー会議議事録……………資料2

資料に沿って教頭が説明

(3) 学校評価集計結果から(教育活動の改善)……………資料3

資料に沿って教頭が説明

会長: 学習について保護者からの評価が下がってしまったが、個人的にはそうは思わない。基礎基本を大切にしたい授業をされていると思う。授業参観を見てもそう思う。しかし、3割の保護者はそうは思っていないのは、保護者に基礎基本が何かというのが伝わっていないのではないかな。

佐藤: 放課後の児童の姿を見ていると、相手を思いやる道徳的なアプローチが必要だと思う。マナーについては、子供も言い訳を言うので、しっかりと指導していきたい。保護者の評価と児童の体感にずれがあるのではないかな。

教頭: アンケート前に、本校の取り組みを紹介したものを出したが、年度末にいきなりというタイミングは適切ではなかったのかもしれない。来年度は、年度途中に出すようにしていきたい。

校長: パートナー会議で項目がわかりづらいという意見をいただき、今年度は質問を変えた。変えたがために下がってしまったことがあると思う。それでも、アンケートの本来

の意味を考えると質問内容を変えるべきだった。だから、数年という長い目で見ていきたい。

伊坂：学校が育てる力とは何か。学力の基礎基本が一つ、それから道德心。ここ数年は非認知能力と言われる。非認知能力は、テストなどでは、はかれない能力のこと。忍耐力や、相手の気持ちを推し量る能力など。そういったことが今後は求められていく。このアンケートでは、旧来の学力などが重視されているように感じてしまう。学校が育てようとしているものをしっかりと学校から発信していくと良い。

教務：非認知スキルは、授業をどのように学ばせるか、学級経営などに関わってくる大切なもの。若年層研修などで、研修も行っている。

伊坂：保護者に学力だけではない視点をもってもらえると良い。学校がつけようとしている力は、学力だけではない。数字だけで一喜一憂をすべきではない。

橋村：アンケート結果は保護者に公表されるのか。

教頭：学校ホームページにて公開する。

橋村：地域の方は学校の内部のことはあまりわからないので、アンケートには答えづらい。地域はなくてもいいのでは。

教頭：アンケート自由記述の中には、配付物が紙からデータになったことに否定的な意見もある。今後考えていく必要がある。

山本：テトルは保護者の両親どちらも登録しているのか。どちらしてもらった方がいい。

(4)いじめアンケート

当日の資料に沿って生徒指導主任が説明

会長：いじめについては、減らすことが目的なのか。それとも、いじめをきっかけに相手の気持ちを考えるなどの教育の場とすることが目的なのか。

生徒指導主任：いじめアンケートは全国的に行われている。かつてはいじめ発生件数としていたが、現在は認知件数としている。それは、見付かったからこそ、早期解決ができるという良さがあるから。件数が多いからといってマイナスに捉えるばかりでなく、前向きに捉えることもできる。

伊坂：いじめについては、日常の指導や道德の授業が大切。道德の目標は、善悪の判断ができるようになること。頭ごなしに教え込むことではない。そういったことが未然防止につながる。道德でいじめか判断させるような教材を扱うのも良い。いじめが起きてしまったなら早期解決が大切。それだけではなく、日頃からの指導も大切に。ところで、スマホや SNS 等についてのいじめがないのが気になる。SNS 等のネット上は隠れやすいので注意が必要。

橋村：学年が低いとスマホやネットに触れる機会が少ないからでは。学年が上がれば増えてくるのでは。

伊坂：学年が上がれば、いじめられたことを隠す気持ちも出てくるので、難しい。

いじめアンケートの目的は、解決して終わりではなく、それをもとに、学校の中のどこに問題があるのかを考えるきっかけになると良い。

(5)健康状態(発育測定)・体力向上研究等……………資料4

資料に沿って教頭が説明

体力テストの結果について体力向上研究主任から説明

会長：秋津小の児童は、全国平均より高い。課題はなく、着実に進歩しているという認識でよいのか。

主任：平成28年度から調査結果と比べると、現段階では、下がっているところが課題。

4 協議事項

(1)令和7年度教育課程について……………資料5

資料に沿って教務主任が説明

伊坂：個別最適な学びと協働的な学びの一体化ということが必要だと思う。一斉授業がうまい先生が良いという考えを捨てていくべき。今まででは、はかれなかった能力(非認知能力)を重視していくと良い。学習調整能力なども大切。

教務：秋津小はかつて学びの調整、メタ認知などが研究内容だった。その経験もふまえ指導していきたい。

伊坂：教員の個人のメールがないのはもったいない。メールアドレスがあれば使用できるウェブサイトなどもあるのに。

吉川：クラブ活動はいつ、何回やるのか。

教務：今年度と同じく6回の予定。行事の日程がまだ未確定で決められていない。確定版には日程も入れて配付する。

(2)令和7年度学校いじめ防止基本方針……………資料6

資料に沿って教頭が説明

5 その他

○次年度学校運営協議会の開催日について

〈開催日案〉(仮)

- 第1回 令和7年 4月24日(木) 9:00～11:00(2校時授業参観)
- 第2回 令和7年 6月20日(金) 17:00～18:00
- 第3回 令和7年11月27日(木) 17:00～18:00
- 第4回 令和8年 2月19日(木) 17:00～18:00